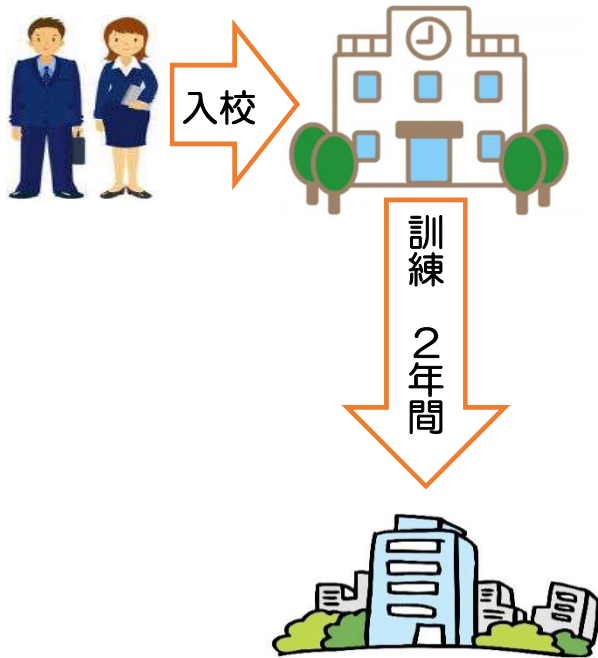


別府市(大分県)で竹細工職人を目指しませんか？



2年間の訓練終了後、企業や工房(自営)へ就職するが・・・

- ①約半数が自ら工房を開設
- ②企業や工房へ就職後、将来は自ら工房を開設する方が多い。そこで・・・

別府市(大分県)は、自ら工房を開設する環境が整っている！

1 材料の「竹材」確保が容易

2 長い下積み期間に適した環境

- ・更なる技術の習得に：3年～5年
- ・生計が出来るには：7年～8年

(デザイン力・量産技術・オリジナル商品開発)

職人ネットワークの形成

- ①多くの仲間(職人)が在住するので仕事の情報やヒントを得やすい。
- ②困った時、技術相談が出来る。別府の職人さんは技術をオープンに教えてくれる。
- ③伝統工芸士が多数(18名)在住

3 『別府竹製品協同組合』がある

- ①多数の職人が在籍
- ②『組合』で受けた仕事を組合員でシェア
- ③組合員同士の情報交換や繋がりができる。

4 企業・工房(自営)が多数ある

- ①企業や工房の仕事(出来高払)を受けながら、自らの技術力向上と商品開発の参考になる。
- ②将来、工房を開設する時の参考になる。
- ③商品を作り、数をこなすことで、自らの量産技術の向上になる。

5 貸し工房がある

当センターは、県内で創業・自立しようとする個人や若い竹工芸家に作業・研究場所として、インキュベーション型貸し工房「未来竹房 B-スクエア」を(3区画)設置し、創業や自立を支援しています。